

事業所名

児童発達支援・放課後リリークラブ 南嶋ヶ谷

支援プログラム（参考様式）

作成日

2026 年

3 月

15 日

法人（事業所）理念		子どもたちの健やかな成長と、自立した心と体づくりの支援を心がけております。 指導員一同、子どもたちと全力で向き合い、ひとりひとりの個性に合わせた最適な「遊び」「学び」ができる支援計画を立て、積極的により良い取り組みを実施していきます。		
支援方針		子どもたちと全力で向き合い、ひとりひとりの個性に合わせた最適な「遊び」「学び」ができる支援計画を立て、積極的により良い取り組みを実施していきます。「第二の我が家」として子どもたちの生活の幅を広げ、ともに成長していきます。		
営業時間		9 時 0 分から 18 時 0 分まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 健康状態の把握(来所持の体温測定、気分の把握。健康な心と体を育て自ら健康で安全な生活を作り出す。本人からの小さなサインに気付けるようにきめ細かな観察を行う。) 生活リズムや生活習慣の形成(定期的かつ定時に通所。睡眠、食事、排泄等の基本的な生活リズムの習得。病気の予防や安全への配慮。) 基本的な生活スキルの習得(身辺自立、身の回りを清潔にし食事、衣服の着脱、排泄等の生活に必要な基本的技能の獲得。視覚や聴覚など子供の障害特性に合わせた指導の実施。) 		
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 姿勢と運動、動作の向上(日常生活に必要な動作の基本となる姿勢維持や、上肢下肢の運動や動作の改善及び習得、関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持や強化。) 身体の移動能力の向上(日常生活に必要な移動の力のために運動に関するプログラムの実施。 ※サーキットやボール遊び、鬼ごっこ等) 保有する感覚の活用(子供の発達段階及び特性に配慮した視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できる遊び ※新聞遊び、ボール、トランポリン、マット、平均台等) 感覚の特性への対応(感覚過敏や鈍麻等を踏まえ、感覚の偏りに関する環境調整の提案及び支援) 		
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 認知の発達と行動の習得(視覚、聴覚、触覚等の感覚を活用し、必要な情報を収集し認知機能の発達を促すために制作活動や身体遊び等を活動プログラムに取り入れる。 ※折り紙や平均台等) 認知や行動の手掛かりとなる概念の形成(物の機能や属性、形、色、音が変化する様子、空間や時間の概念の形成を図り認知や行動の手がかりとして活用できるような認知教材の活用。 ※型はめ等) 数量、大小、色等の習得(日常生活場面での活動を通して、子供の発達段階に対応した数量、形や大きさ、重さ、色の違い等の習得のため具体的な声掛け等を日常生活の中で行う。) 行動障害への予防及び対応(感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害に対して事前に環境調整など予防策を講じ、適切行動の獲得に向けた適切な支援。) 		
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 言葉の形成と活用(具体的な物事や体験と言葉の意味を結びつける等により、体系的な言語の習得、自発的な発声を促す支援プログラムの立案をし実践する。) 言語の受容及び表出(子供の発達段階に応じた言葉や各種の文字、記号等を用いて、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝える等、言語を受容し表現する支援。) コミュニケーション手段の活用(発達段階に応じて指さし、身振り、サイン、音声、文字、イラスト、触覚など多様なコミュニケーション手段を活用しながら環境及び関わり方の調整を行い、環境の理解と意思の伝達ができる機械を積み重ねていけるように支援する。) 		
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> アタッチメントの形成(人との関係を意識し、身近な人と親密な関係を築き、その信頼関係を基盤として周囲の人と安定した関係を形成するための支援。) 模倣行動の支援(遊び等を通して人の動きを模倣することにより、社会性や人間関係の芽生えを促していく。) 一人遊びから協同遊びへの支援(周囲に子供がいても無関心である一人遊びの状態から並行遊び、連合遊び、役割分担やルールを守って遊ぶ協同遊びへスモールステップでの遊びの育ちを促し、社会性の発達を支援する。) 集団行動への参加(環境調整及び関わり方の提案を行い、子供自らが自発的に集団に参加し手順やルールを理解し遊びや集団に参加できるように支援していく。) 		
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> 子供に関する情報の提供と定期的な支援調整。 子供の発達上の課題についての気づきの促しとその後の支援。 子供を支援する輪を広げるための橋渡し。 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて放課後等デイサービスの情報の共有。 子供の情報、保護者の意向等について移行先への伝達。 併行利用の場合は日数調整や時間等の配慮。 相談支援等による移行先への支援。
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて医療機関、保健所、児童相談所等の専門機関との連携。 教育機関の関係者との連携。 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> 法人内外の研修への参加。 事業所内での定期的な会議やOJTの実施。
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> 工作(季節の工作等) ・運動(微細運動や粗大運動等) ・生活(日常動作訓練等) ・音楽(リトミック等) ・集団(紙芝居会やスケッチブックシアター等) 歓迎会 ・お誕生日会 ・水遊び ・課外活動(ピクニック、公園、遠足、外食体験、買い物等) ・夏祭り ・ハローウィンパーティ ・クリスマス会 ・正月イベント ・卒園式 ・消防訓練 		

事業所名

児童発達支援・放課後リリークラブ 南嶋ヶ谷

支援プログラム（参考様式）

作成日

2026 年

3 月

15 日

法人（事業所）理念		子どもたちの健やかな成長と、自立した心と体づくりの支援を心がけております。 指導員一同、子どもたちと全力で向き合い、ひとりひとりの個性に合わせた最適な「遊び」「学び」ができる支援計画を立て、積極的により良い取り組みを実施していきます。		
支援方針		子どもたちと全力で向き合い、ひとりひとりの個性に合わせた最適な「遊び」「学び」ができる支援計画を立て、積極的により良い取り組みを実施していきます。「第二の我が家」として子どもたちの生活の幅を広げ、ともに成長していきます。		
営業時間		9 時 0 分から 18 時 0 分まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 健康状態の維持や改善(健康な心と体を育て自ら健康で安全な生活を作り出す。本人からの小さなサインに気付けるようにきめ細かな観察を行う。) 生活リズムや生活習慣の形成(睡眠、食事、排泄等の基本的な生活リズムを身につけるように。病気の予防や安全への配慮。) 基本的な生活スキルの習得(身辺自立、身の回りを清潔にし食事、衣服の着脱、排泄等の生活に必要な基本的技能の獲得。視覚や聴覚など子供の障害特性に合わせた指導の実施。) 		
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 姿勢と運動、動作の向上(日常生活に必要な動作の基本となる姿勢維持や、上肢下肢の運動や動作の改善及び習得、関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持や強化。) 保有する感覚の活用(子供の発達段階及び特性に配慮した視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できる遊び ※新聞遊び、ボール、トランポリン、マット、平均台等) 感覚の特性への対応(感覚過敏や鈍麻等を踏まえ、感覚の偏りに関する環境調整の提案及び支援) 		
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 認知の発達と行動の習得(視覚、聴覚、触覚等の感覚を活用し、必要な情報を収集し認知機能の発達を促すために制作活動や身体遊び等を活動プログラムに取り入れる。 ※折り紙や平均台等) 認知や行動の手掛かりとなる概念の形成(物の機能や属性、形、色、音が変化する様子、空間や時間の概念の形成を図り認知や行動の手がかりとして活用できるような認知教材の活用。 ※型はめ等) 認知の偏りへの対応(一人一人の子供を適正に評価し、認知の特性を把握し情報を適切に処理できるような環境調整や支援者の関わり方の指導や調整を行う。) 行動障害への予防及び対応(感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害に対して事前に環境調整など予防策を講じ、適切行動の獲得に向けた適切な支援。) 		
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 言葉の形成と活用(具体的な物事や体験と言葉の意味を結びつける等により、体系的な言語の習得、自発的な発声を促す支援プログラムの立案をし実践する。) 言語の受容及び表出(子供の発達段階に応じた言葉や各種の文字、記号等を用いて、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝える等、言語を受容し表現する支援。) コミュニケーション能力の向上(個々に配慮された場面における人との相互作用を通して、共同注意の獲得等を含めたコミュニケーション能力の向上のための支援。) 読み書き能力の向上(障害の特性に応じた読み書き能力向上のための支援。) 		
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 他者との関わり、人間関係の形成(自分と人とは違う人間ということを理解し、他者との適切な距離感、関わり方の支援。) 自己の理解とコントロールのための支援(子供の発達段階に応じた支援者の関わり方を提案し、大人を介在して自分の出来ること出来ないことなど自分の行動の特徴を理解するとともに、気持ちや情動の調整ができるようになるための支援。) 集団行動への参加(環境調整及び関わり方の提案を行い、子供自らが自発的に集団に参加し手順やルールを理解し遊びや集団に参加できるように支援していく。) 		
家族支援			移行支援	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて中高生向け放課後等デイサービスの情報の共有。 子供の情報、保護者の意向等について移行先への伝達。 併行利用の場合は日数調整や時間等の配慮。 相談支援等による移行先への支援。
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて医療機関、保健所、児童相談所等の専門機関との連携。 教育機関の関係者との連携。 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> 法人内外の研修への参加。 事業所内での定期的な会議やOJTの実施。
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> 制作(季節の制作等) ・運動(微細運動、粗大運動等) ・実験(理科の実験や工作的実験等) ・学習(SST等) ・音楽(ダンスや楽器等) ・調理(おやつ作りや昼食作り等) ・集団(ルールのあるゲームや遊び等) 歓迎会 ・水遊び ・課外活動(公園、外食体験、買い物等) ・夏祭り ・ハローウィンパーティ ・クリスマス会 ・正月イベント ・卒業式 ・消防訓練 		